

令和 6 年度 第 8 回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和 7 年 1 月 31 日（金） 15：00～15：30
- 2 場 所 公民館 2 階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	本村 健一郎
2	課長代理	峯 清美
3	係長	野田 あゆみ
4	主任指導主事	小宮 広明
5	専門員	牟田 久俊

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	課長代理	小野 政己

4 議題

教育課題解決の基本方針と今後の取り組みについて

○開会（山中課長）

○挨拶（山田町長）

この1年間集中的に町の教育に関する課題についていろいろ話し合いを重ねてきた。実際来年度からは実行に移す段階になっていくと思っている。

議会が3月にあるが、今は予算編成作業で来年の江北町の当初予算について最終的には町長査定ということで来年度何をするかを決めている。

ここまで、議論してきたことも来年度の予算・事業にしていけないといけない。

今日は、認識を共有したい。

・学力向上について

江北町の子どもたちは、学校外での学習時間が少ない。学びの習慣をつけるのも一つの課題。特に英語は佐賀県自体が非常に低い。今は、中学校2年生も中学校1年生もあまり変わらないという状況。最初から躓いているのかもしれない。英語も強化していくために、英検を一つのテーマにしている。ただ英検を受けるのではなく、そのための活動や学習会をしていきたい。

・部活の地域移行について

国の方針が少し変わったので、全体のスケジュールが遅れている。そもそも部活の数が減っている。今ある部活を地域展開しても子どもたちの経験や部活動そのものが少なくなる。大町町と共同部活をする方向性を持ちたい。あわせて、江北町独自でも地域展開ができるような部活は、行っていく。そして地域展開する中で大町町の子どもたちも受け入れていきたい。

大町町との共同の協議会や何から始めるかということを行ってもらいたい。

・教育支援センターについて

場所とか設備よりも機能を早めにスタートさせる。学校に馴染めない子どもたちのルートを担っていけないといけない。保護者の相談や子どもの居場所をしっかり作っていく。

・施設老朽化対策について

全体像が他の3つと比べて見えていない。小中学校だけの話ではない。これまで計画したりしたが、修繕を早めに取り掛かること。4月・5月に優先順位付けをする。それに基づいて6月補正予算からでも来年度から順次行っていく。

【浪瀬委員】

・学力向上について

大きな目標を持つことで自信につながる。興味を持って将来の仕事に繋げて

らえればいい。

- ・部活動地域移行について

いろいろな課題がある。大町と共同ですることになってもたくさんの課題が出てくる。2つの自治体で協力して、十分検討したうえで子どもたちが活動できるようになればいい。

- ・教育支援センターについて

目途が立っているのでぜひ来年度から行っていただきたい。

- ・施設老朽化対策について

非常に難しいと思う。何をどうするかなど計画を作らないと判断ができないと思った。

【溝口委員】

- ・施設老朽化対策について

B Gの体育館が使えないかという町民さんから相談を受けている。以前、田中委員さんが言われた老朽化への保守・保全の積み立てを行うことで、急な出費に対応できるのではないかと。全国的に建物老朽化は問題になっているので、積み立ては必要なのではないかと思う。

- ・部活動地域移行について

よく相談を受ける。地域移行・地域展開をするのであれば早めに指導員に話をしてほしい。指導員に情報が全く来ていない。

【重松委員】

この大きな4つの課題がいつからどのように始まるか明確に見えてきたのでよかった。

【田中委員】

4つの課題の一つ一つの取りかかりやすいところから、スピード感を持って行っていくという期待が牟田先生からの話で思っていた。

英語にしても、英語を特化しているが、学習習慣を身に着けることに関しては、一つのことを一生懸命していたら、波及してほかの教科にも広がっていくのではないかと思う。イングリッシュキャンプなど英語とたくさん触れ合う機会を作ることで、江北町の子どもたちは、英語が得意・英語が話せるといった特徴として捉えてもらえるといい。

学力向上・部活の地域移行・教育支援センターは、スピード感をもってすぐに行ってほしい。

施設老朽化対策は、お金もかかりますので、まずは、子どもたちが過ごす学校の壊れたところの修繕など、計画的にしてもらいたい。

【山田町長】

- ・英語に関しては、学びの習慣をつける。みんなで自分の目標を持つことができる。英語に馴染める環境を作っていきたい。
- ・来年度はオーストラリアの方が江北町に来町されるし、マッシュー先生にも来ていただいているので、いろいろなことができると思う。

【田中委員】

A L T の先生がもっと職員室から出て、子どもたちと触れ合う時間をもっと増やす。

学習時間はなかなか話しかけることが難しいが、休み時間など雑談したりすると、生きた英語が話せるのではないか。恥ずかしがらずに話すことが大事。

○閉会